

経営者・経理担当のみなさま



経 理 業 務 の 最 適 解

ZEDIで脱職人!

だれでも

かんたん

あんしん



その経理業務、職人技になっていませんか？

経理業務には様々な課題がつきものです。皆さんも下記のような課題に悩まされてはいませんか？

経理業務が抱える課題

手作業による
業務負担

ヒューマン
エラー

インボイス等
各種制度への対応

取引先企業への
フォロー

セキュリティ管理
や属人化

そのお悩み**ZEDI**で全て解決しましょう

誰でもかんたんに **バックオフィスの業務の効率化・生産性向上を実現！**

発注企業の 事務効率化・生産性向上



- 請求データを利用し、振込電文の作成・データ添付を自動化。
- 入金明細から取引内容が確認でき、受注企業からの問い合わせが減少

入金消込作業の自動化



- 売掛金を入金額と突き合わせる入金消込処理を効率化

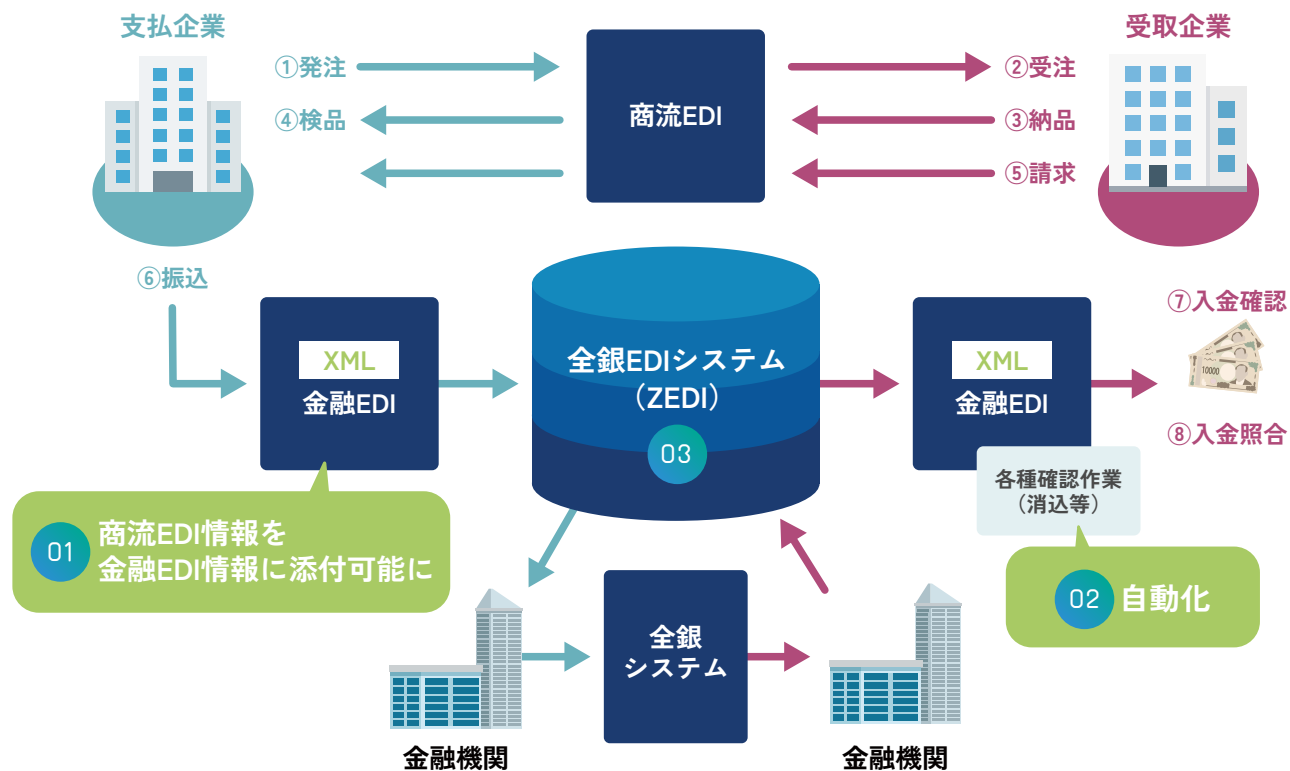
支払い通知番号などの添付！ 取引内容をリアルタイムで確認



- 支払企業は取引内容を確認することが可能となり、受取企業からの問い合わせが削減。
- 受取企業は請求書と入金額の差額の原因特定が容易に。

02 ZEDIのメリット

● ZEDIの役割



01

商流EDI情報(受発注から請求までのデータ)を金融EDI情報(振込から消込までのデータ)に添付した総合振込の作成を自動化!

02

総合振込の内容を元に消込作業が自動化!

03

取引内容をオンラインでリアルタイムに確認可能

POINT

- 発注企業側は受け取り企業からの問い合わせが削減!
 - 受取企業は請求書と入金額の差額の原因特定が簡単!
- だから、業務の効率化や属人化など経理に関する課題を解決できるんです

03 ZEDI導入実績の期待

ZEDIの実証実験(全てのモデルプロジェクト)での計測結果を平均すると、商流プロセス(発注・受注・出荷・検収・請求)において**発注企業：51.1%** **受注企業：34.8%**、決済プロセス(支払・入金)において**発注企業：58.4%** **受注企業：55.4%**の**生産性向上効果**が見られました。

デジタルインボイス活用岐阜モデル構築実証事業進捗報告による、定量的効果と定性的効果は以下の通りです。

※「中小企業受発注業務などのIT化に関する中小企業庁の取り組み状況」

● 定量的効果

(単位:秒)

EDI未利用者	基盤利用前	基盤利用時	削減率
商流 発注～検収	1,050 売り手 180 買い手 870	286 売り手 105 買い手 181	72.7%
請求・金流 送着金・消込	1,355 売り手 1290 買い手 65	551 売り手 296 買い手 255	38.2%
合計	2,405	837	65.2%

※「デジタルインボイス活用岐阜モデル構築実証事業進捗報告」

● 定性的効果



ミスが減りそう
*受発注する2社が同じデータを見ている
*受発注のデータを利用していることで安心



ペーパーレスになると業務負担が減りそう
*「紙の書類」が無くなるだけで楽に感じる

※「デジタルインボイス活用岐阜モデル構築実証事業進捗報告」

ZEDIを使った方の声

確かなデータのやり取りで、対業者様からの信頼アップが期待できます！



船町湊まちづくり株式会社
三輪 良江 様



受発注から決済まで
信頼性の高いデータのやりとりを実現



入金消込処理の省力化を実現し、
業務負担を軽減

ほかの導入事例は
こちら



04

ZEDI 対応製品・サービス

● インターネットバンキング (IB)

運営会社



製品・サービス



● 一括ファイル伝送 (FB)

運営会社



製品・サービス



働く、が変わるとき。



ZEDI 対応製品・サービス一覧はコチラ ▶



05 ZEDIでデジタルインボイス!

● デジタルインボイスとは

企業間の「請求書」等を、コンピュータで読み書きできる標準化された電子データでやりとりする仕組みのことです。これまでの紙やPDFとは異なり、請求書の内容(発行日、金額、相手先番号など)をデータとしてそのまま自動処理できます。入力やチェックの手間を減らし、経理業務の効率化・自動化を実現します。

● ZEDIとの関係

ZEDIは企業間で請求・支払データを銀行ネットワーク上でやりとりできる仕組みです。デジタルインボイスと決済情報を一体で送れる国内唯一の金融 EDI インフラです。

標準フォーマットとは…

業界横断的金融EDI情報標準「DI-ZEDI」

業界横断的な金融 EDI 情報標準として、デジタルインボイス標準仕様(JP PINT/JP BIS)に対応したフォーマットです。

標準フォーマットの
ダウンロードはコチラ



請求・決済データの標準フォーマットで使いやすく

全銀ネットがデジタルインボイス標準仕様をもとに制定した「DI-ZEDI」は、政府相互運用性フレームワーク(GIF)のベースにもなっています。金融 EDI 情報として、この「DI-ZEDI」を利用することで、取引先企業の業種や利用ソフト等を気にすることなく、請求・決済データの連携が可能となります。

デジタルインボイス標準仕様

「デジタルインボイス標準仕様」は、デジタル庁が、グローバルな標準仕様である「Peppol(ペポル)」をベースとして策定したものです。「DI-ZEDI」は、当該標準仕様の適格請求書「JP PINT」および仕入明細書「JP BIS」に対応しています。

政府相互運用性フレームワーク

「政府相互運用性フレームワーク(GIF)」は、データの相互運用性を担保する観点からデジタル庁が定める技術的体系で、「DI-ZEDI」および「デジタルインボイス標準仕様」をベースに、GIFの一つとして「実装データモデル(金融)消込」が策定されています。

DI-ZEDIの項目	入力	属性
請求書タイプコード [Invoice type code]	必須	半角数字3文字
請求書番号 [Invoice number]	必須	全半角 35 文字以内
請求書発行日 [Invoice issue date]	必須	半角 10 文字
請求金額(税込) [Invoice total amount with TAX]	任意(推奨)	半角 18 文字以内
売手(受注)企業の登録番号 [Seller TAX identifier]	必須	半角英数字 14 文字
買手(発注)企業の登録番号 [Buyer TAX identifier]	任意(推奨)	半角英数字 14 文字
振込手数料負担	任意	半角数字3文字
備考	任意	全半角 140 文字以内

デジタルインボイス 3つのPOINT

- 01 「請求書」等を
データでやりとりできる仕組み
- 02 インボイス制度・電子帳簿保存法にも対応
- 03 ZEDIとの連携で決済まで一気通貫

06 FAQ (よくあるご質問)

もっと知りたい方はコチラ ▶



Q1 ZEDIを導入したいです。どんな手続きが必要ですか。

ZEDI導入に当たっては、以下のステップでご検討いただくことが考えられます。特に、振込に添付する金融EDI情報の中身について、お取引先企業と事前にご相談いただく必要があります。この際には、全銀ネットが業界横断的な金融EDI情報として制定したデジタルインボイス標準仕様 (JP PINT / JP BIS) に対応する「DI-ZEDI」のご利用が便利です。

step1

導入検討・社内決定

■業務コストの確認

経理業務に費やしている業務時間や人件費などの費用

■導入費用の確認

ZEDI利用に必要なEB料金、会計ソフト・通信ソフトの対応状況またはサポートツールの有無

step2

お取引先とご相談

■お取引先企業とZEDIの利用に向けてお打ち合わせを行います。

■消込作業に使うキー情報として必要な情報は何かを決めます。

例えば、注文書や請求書の番号、金額などが考えられます。※

※金融EDI情報のご利用をご検討ください。

step3

導入準備・会計ソフトとの連携確認

■お取引金融のEBを導入ください。

■ZEDIに対応したXML形式の振込電文の作成やZEDIで送信されたXML形式の振込入金通知／入出金取引明細の読み込みなど、会計ソフトと連携する方法を確認ください。

step4

お取引先へご連絡

■支払企業

ZEDIに対応した振込でお支払を開始することを連絡します。

■受取企業

ZEDIに対応した振込を希望するころを連絡します。

Q2 取引先(受取企業)がZEDIに対応していない場合でも、ZEDIによる振込をして問題ないでしょうか。

取引先(受取企業)がZEDIに対応していない場合でも、これまでどおり銀行口座に振込送金されますので問題ありません。ただし、ZEDIに対応していない取引先(受取企業)は金融EDI情報を確認することはできませんので、取引先(受取企業)が売掛金の消込管理などに金融EDI情報を活用するためには、ZEDIに対応することが必要です。

Q3 経理担当にZEDIを導入したイメージを伝えたいです。

ぜひ『ZEDI対応ソフト操作体験動画』をご覧ください。こちらの動画では、請求書の発行・受領から入金消込までZEDI対応ソフトを簡単な4つのステップでご説明しています。



操作体験動画をみる ▶



まずは、お気軽にお問い合わせください！

利用者の声を聴きたい



推進特別動画をみる ▶

検討・問い合わせをしたい



お問い合わせフォームはコチラ ▶

ソフトウェア会社の方へ



連携時の各種サポートはコチラ ▶



一般社団法人 全国銀行資金決済ネットワーク(全銀ネット)
Japanese Banks' Payment Clearing Network (Zengin-net)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目3番1号 銀行会館内

HPはコチラ ▶



<https://www.zengin-net.jp/zedi/>

※ 本資料は2025年10月に作成されました。掲載されている内容は作成時点での情報です。



全国銀行資金決済ネットワーク(全銀ネット)



EIPA デジタルインボイス推進協議会
E-Invoice Promotion Association

JBA 一般社団法人
全国銀行協会